OneOsaka! 大阪維新の会 堺市議会議員

まとば 慎一

ポケットジャーナル

VOL.１４

堺を新たなステージへ！

ご挨拶

　いよいよ今年もあとわずかとなりました。皆様におかれましては年末の多忙な日々とご推察致します。堺市議会は12月20日（木）に定例議会が閉会しました。今回も様々な議論を展開してまいりましたので、取り急ぎこのジャーナルにてご報告申し上げます。

　また、先月末には、**大阪万博が2025年開催決定**致しました。署名活動、気運醸成に向けて多くの皆様のご支援の賜物であります。心より御礼申し上げますとともに、開催に向けてしっかりと進めてまいりたいと思います。

まとば慎一　健康福祉委員会質疑　その４

④動物の殺処分ゼロを目指して！

堺市の昨年度の犬・猫についての殺処分は犬が16頭、猫が112頭となっている。大阪市では２０２５年に向けて重度の病気でない、まだまだ生きていける動物の殺処分ゼロを目標に掲げている。またそれに向けて譲渡会の回数を追加するなどの施策も展開しているところ。動物の殺処分について堺市はいかに考えているのかを質疑した。答弁としては、殺処分を減らすことについては理解を示したが、明確な目標については設定しない内容となった。私から、竹山市長へ明確な目標設定は必要であると意見し、検討を求めた。

まとば慎一 ネットラジオ番組も継続中です！

Podcast

まとば慎一　検索

僕のホームページ、
www.ishin-matoba.com
または
←ポッドキャストアプリの
検索でお聴き頂けます。

まとば慎一事務所　〒590-0103 堺市南区深阪南 342-12
TEL： 072-230-1887 ・ ホームページ www.ishin-matoba.com

まとば慎一 12/14(金) 健康福祉委員会での質疑

①老人ホーム入居の優先度について

老人ホーム入居の優先度は、必要とする支援の度合いを点数化し、それによって考慮している。必要な支援の度合いだけでは、背景にある緊急性をどのように判断するのかが明確でない。ケアマネージャーからの個別の報告で考慮されるとの答弁であったが、今後、申込者が増加していけば緊急性などについても明確な評価が必要となる。施設との調整や状況に応じた検討も担保しながらも**緊急性にも明確に対応していけるように体制検討**を求めた。

②これからの医療と介護の連携とは？！

超高齢社会において、介護の現場においても医療的な支援が必要との声が高い。医療と介護の連携強化は行政がコーディネートする役割を果たしていくように求め、最終的には中学校区単位での連携体制構築を目指す必要性を意見。

③待機児童ゼロを目指して

国において無償化が実施される幼児教育・保育の無償化によって申し込みが増加すると考えられる。待機児童ゼロに向けてますます保育士などの人材確保が重要となってくることから、人材確保について結果を出せる取り組みが重要と意見。私から他市の**保育士の人材確保プロジェクト**事例などを示し、堺においても独自の施策展開を行うために**プロジェクトの立ち上げを検討**するよう意見した。

近大移転についての住民説明会が開催された！11月17日（日）

三原台地域において、近畿大学病院医学部移転は大きな街の変化となる。住民の声も聞き、丁寧なまちづくりを進める事を重視し、私は堺市に対して、全ての三原台住民を対象にした説明会を開催するよう、議会で求めてきた。約２年間かかってようやく実施となった。説明会では、近大移転が地域医療にもたらす効果や、緑道や公園リニューアルを始めとする様々な事業について資料で説明された。当日は約５００名弱の方々が参加され、事業の白紙撤回や田園公園など緑地を残して欲しいなど、様々なご意見も出た。今議会において、会派として代表質疑の中で、このような住民説明会でのご意見についての対応について質疑。市としては田園公園の一部を残すために協議、調整を行なってきており、近大へ譲渡する区域においても住民や一般の方が自由に憩えるオープンな緑地を近大との調整協議で行なっているとの答弁があった。それに対して、

①近大への譲渡区域でも地元住民や一般の人も自由に憩える緑地空間を作っていくこと。
②近大エリアを抜ける緑道について通行権を法的に確保すること。などを意見し、対応を進めるように要請した。

住民説明会当日の模様。
500名弱の住民の方々が参加された。